

社協だより 8

2026

—安心して暮らせる福祉のまちづくり— NO.341



ふれあい交流会

お一人暮らし高齢者の皆さんからのあたたかな
返信メッセージをお届けしました。



飯野小学校児童代表の皆さんへ



津森小学校小学3・4・5・6年生の皆さんへ

たくさんのメッセージありがとうございました！

社会福祉法人
益城町社会福祉協議会



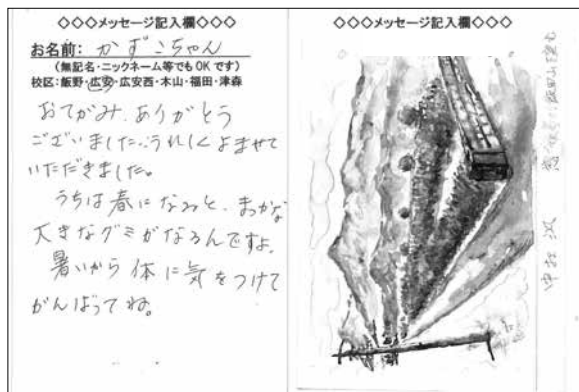
ふれあい交流会メッセージを小学校へ

はがきから広がる地域の輪

先月号に続き、今月号では皆さんから、子どもたちへのはがきをご紹介します。

届いたはがきには、「日頃から子どもたちの挨拶や元気な声に心が和む」といった温かい言葉が多く寄せられました。また、児童からの「運動会に来てね」というメッセージがきっかけで、実際に会場へ足を運ばれた方もいらつしやいました。はがきには「赤団・白団の応援が素晴らしいかった」と、当日の感動が綴られていました。

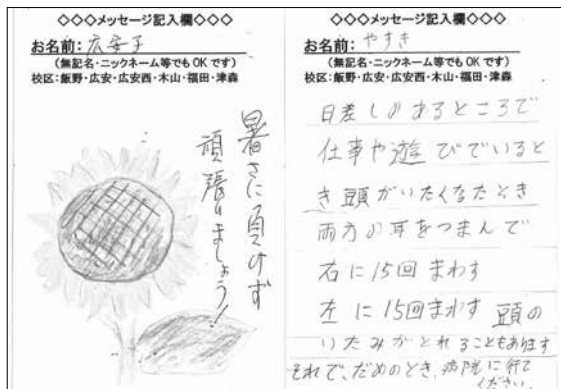
いただいた返信はがきは、ご協力いただいた各小学校の児童の皆さんへ大切におどけしました。



一枚一枚に、想いが込められています



葉書いっぱい広がる温かいメッセージ



大きなヒマワリと夏の健康を気づかうメッセージ

地域福祉委員例会

備えて安心、話して安心 「終活」を学ぶ



講師の司法書士 松尾英美 氏



エンディングノートについても学びました

令和8年度第一回の例会を6月16日に保健福祉センターはびねす多目的室にて開催しました。今回の研修は、松尾法務合同事務所の松尾英美司法書士をお招きして「終活」について学びました。

家族や自分自身が亡くなった時のことを考えて、事前に備えておいた方がよい事柄や、亡くなったあとの手続きについて、事例を交えた内容と、実際のエンディングノートを活用しながら分かりやすくお話しして頂きました。

研修を終えて、「お葬式のことだけでなく、行政での色々な手続きが必要なんですね」「相続などの問題も一度、家

族と話し合っておく必要がある」などの意見が上がりました。

※地域福祉委員は前年度より「高齢者相談・地域福祉委員」の名称が「地域福祉委員」の名称へ変更しました。

これは益城町の地域共生社会実現のために、高齢者だけでなく地域全体の住民の見守りをするために変更となったものです。この流れを受けて地域福祉委員の方々は、高齢者支援についての情報だけでなく、生活する上で必要な制度や情報を例会において学ばれています。

在宅介護者のつどい

本に囲まれて 気分転換のひととき

6月12日、交流情報センターミナテラスにて開催しました。会場は町図書館で、本とのふれあいを通じて、気分転換や介護者同士の交流のひとときを過ごしていただきました。

図書館司書の方には、介護に役立つ本の紹介や絵本の読み聞かせをしていただき、初めての参加者も多く、皆さん話に引き込まれていました。

「絵本を見ると懐かしい」「ゆっくり本を読む時間もなくて行ってみたいと思っていた」といった声も聞かれ、この機会に本を借りて帰られる方もいらっしゃいました。



司書さんによる読み聞かせ



参加者の皆さん



図書館での読書の時間

時には気分転換に、図書館で本に触れてみてはいかがでしょうか。

認知症サポーター養成講座

認知症を知る 頭と体のオリジナル体操 初披露



曲が進むにつれ頭も体もフル回転！

6月20日、地域共生センターカタルにて開催しました。認知症への正しい理解を深め、地域で認知症の人やご家族をできる範囲で手助けできる人材を育てることを目的に開催しており、今回は10名の方が参加されました。

認知症とはどのような病気か、どう接したら良いかを、事例をもとに参加者同士で話し合いながら学んでいただきました。また、益城町キャラバン・メイト連絡会が考案した、盆踊り曲「益城育ち」に合わせた頭と体の体操を初披露。曲が進むにつれ難しくなる振り付けに、皆さん笑顔で頭と体を動かしていました。



受講された皆さん オレンジリングで記念撮影



認知症の方への接し方について意見交換

第17回益城町社会福祉士連絡会

ご本人の「想い」に寄り添う支援を考えて

7月2日、町内の社会福祉士が集まる「益城町社会福祉士連絡会」を開催しました。福祉の現場では、答えがひとつに決まらない場面がたくさんあります。今回は、大腸肛門病センター高野病院から濱川文彦氏を助言者としてお招きし、実際の支援事例をもとに、「ご本人やご家族の想いをどう大切にしながら支えていくか」をテーマに話し合いました。

グループに別れて意見を出し合い、濱川氏に助言もいただきながら、それぞれ違う現場で活躍している専門職が集まるからこそ、気づきが多く生まれた時間となりました。

こうした学び合いの積み重ねが、地域の皆さんお一人おひとりに寄り添う支援に繋がっていきます。社協は、これからも「困った」に寄り添いながら、福祉の輪を広げていきます。気になることがあれば、お気軽にご相談ください。



高野病院 社会福祉士 濱川文彦 氏



事例をもとに、活発な意見交換が行われました



みんなで頭を悩ませながら、支援のヒントを探しました

シルバー人材センター安全大会

安全就業を誓う「声掛けは仲間を守るいのち綱」



安全委員の5名 皆さん真面目なナイスガイです



全国統一スローガンで安全意識向上！

7月10日、ウイングまつばせ文化ホールで、熊本県シルバー人材センター連合会主催の安全大会が開かれました。

当センターからは、安全委員5名が参加しました。大会では、全国統一スローガン「声掛けは 仲間を守る いのち綱」を合言葉に、会員一人ひとりが安全で適正な就業に務めることを宣言し、県内の仲間とともに安全への意識を新たにしました。

講話では、熊本県社会福祉協議会会長の石橋敏郎氏が「元気の秘訣は、健康、お金、生きがい、そして学び!」と題してお話してくださいました。この4つの

バランスを保つことの大切さを話されました。「頭で分かるだけでなく、実際に行動できる高齢者を目指しましょう」という言葉には、会場の参加者が何度も大きくうなずいていました。

帰り道の車内でも、「よその市町村センターの取り組みや工夫が聞けて、とても参考になったね」「安全に、楽しみながら作業するのが一番だね」と、会員同士の和やかな会話が弾んでいました。

令和 7 年度 益城町社会福祉協議会 事業報告・決算報告

各関係機関や団体、行政との協力のもと、「未来に向かって地域で支え合う福祉のまち益城」を基本理念として、子どもから高齢者までが住み慣れた地域で安心して生活することができるように、福祉のまちづくりを目指し取り組みを進めました。

①法人運営、広報活動

- ・理事会の開催：3 回 評議員会の開催：2 回
- ・県指導監査
- ・広報活動「社協だより」年 12 回発行
- ・Facebook や Instagram の活用

②シルバー人材センター

会員数：134 名（就業述べ人数：10,924 名）
受注件数：846 件

③福祉事業

- ・民生児童委員と連携した見守り活動
一人暮らし高齢者：752 名 在宅介護者：186 名
- ・地域福祉委員活動
訪問件数：3,550 件 電話見守り支援：495 件
- ・福祉団体親善スポーツ大会
14 団体 110 名参加
- ・小学校での福祉体験学習
- ・親子講座（年 2 回）体育教室や離乳食教室
- ・ふれあい交流会（メッセージ、イベント）
- ・在宅介護者のつどい（年 2 回）
- ・ボランティア協力校助成金（7 校）
- ・社協まつりの開催
- ・居宅介護支援事業の運営
- ・成年後見制度、法人後見事業（新規） 5 件

④受託事業（町）

- ・生活支援コーディネーター活動
地域福祉塾の開催、健康麻雀講習会、ワークショップ
- ・地域サロンコーディネーター配置事業
地域サロンの運営支援（56 地区 55 箇所）
- ・コミュニティソーシャルワーカー配置事業
相談件数：41 件 ケース対応延べ件数：1,519 件
心配ごと相談
開設回数：50 回、相談取扱件数：294 件
益城つながりバトン設置件数：160 件
- ・認知症地域支援推進員、オレンジコーディネーター事業
もの忘れ相談室：6 件 認知症カフェ支援
認知症サポーター養成講座：14 回（養成人数：503 名）
（県社協受託）
- ・生活福祉資金事業 相談、貸付
- ・生活困窮者自立支援事業 94 件
- ・地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）
利用者件数：11 件

単位（円）

収入の部	
勘定科目	金 額
寄付金収入	3,121,024
経常経費補助金収入	22,293,674
受託金収入	51,242,424
事業収入	153,800
負担金収入	1,975,000
介護保険事業収入	4,050,390
シルバー人材事業収入	65,669,436
その他の収入	1,501,196
その他の活動収入	3,912,160
前期末支払資金残高	48,521,033
合計	202,440,137

単位（円）

支出の部	
勘定科目	金 額
人件費支出	87,423,957
事業費支出	78,531,991
事務費支出	5,563,866
助成金支出	4,549,950
固定資産取得支出	0
その他の活動支出	4,114,841
当期末支払資金残高	22,255,532
合計	202,440,137

社協報

◇事務局長就任あいさつ

令和8年7月2日付で益城町社会福祉協議会の事務局長を拝命しました松本浩治と申します。

熊本地震から10年目を迎え、復旧・復興は着実に進んでいます。その過程で、住民同士の支え合いや、ボランティア、関係機関の皆様のご尽力が地域の力となり、改めて、地域と人とのつながりの大切さを実感いたしました。微力ではございますが、地域福祉の推進に尽くしてまいりますので皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



氏名 松本 浩治
(まつもと こうじ)

社協に来る前は、益城町役場企画財政課などに勤めていました。よろしくお願いします。



10数年前に1匹の子猫を家族に迎えました。「あやめ」と名付けています。



家庭ではお世話係？として頑張っています！

◇シルバー人材センター

料金改訂

日頃からシルバー人材センターを利用いただき、心より感謝申し上げます。この度、諸経費の高騰及び最低賃金の改定等により、令和8年8月作業分から料金の見直しを行うこととなりました。今後とも変わらぬご愛顧とご理解を賜りますよう、宜しくお願いいたします。

作業単価表

	R8.4～R8.7まで	R8.8～
除草・農作業など	950円	1,100円
草刈・剪定	1,100円	1,320円
事務手数料	公共 15%	20%
	一般 15%	

◇シルバー会員募集

「まだまだ元気に働きたい」「地域の仲間と繋がりたい」、当センターでは新規会員を募集中です。おおむね60歳以上で、健康で働く意欲のある町内在住の方が対象です。お仕事を通じて、健康づくりや生きがい、仲間との出会いが待っています。あなたの経験を、町のために活かしてみませんか？お待ちしております。

【問合せ】シルバー人材センター

☎096-289-6092



◇もの忘れ相談室

「最近、同じことを何度も聞くようになった」「約束をすっかり忘れてしまう」「このもの忘れは年齢のせい？それとも...」こうした不安を抱えていますか。ご本人はもちろん、ご家族の「気になるけれど、どこに相談していいかわからない」というお声もよくいただきます。

もの忘れ相談室では、認知症についての心配ごとやお悩みを、しっかりとお聴きします。「まだ受診するほどではないかも」と迷われている段階で構いません。お話を伺ったうえで、必要に応じて、その方の状況にあったサポートと一緒に考えます。

【予約時間】①13時30分～②14時30分～

③15時30分～

【場所】役場1階相談室C
【問合せ】地域福祉課

☎096-214-5566

「ひとりで悩まず、まずはご相談ください」



予約不要
毎週水曜

◇心配ごと相談

町内の皆様の日常生活のちょっとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。

※予約不要（相談対応中の場合はお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください）

【日時】毎週水曜 10時～15時（12時～13時除く）

【場所】役場1階相談室D

住所（益城町宮園702）

※相談員は左記の表をご覧ください。

【問合せ】在宅福祉課

☎096-214-5566

※相談員は変更になる場合もあります。

日程	専門相談員	相談員	
8月5日（水）	松尾 一 （行政相談委員）		村上恭一 （民生児童委員）
8月12日（水）	松尾英美 （司法書士）	清水志保美 （人権擁護委員）	志賀親義 （民生児童委員）
8月19日（水）	松尾 一 （行政書士）	藤岡卓雄 （人権擁護委員）	豊永苓二 （民生児童委員）
8月26日（水）	松尾英美 （司法書士）		今古芙美江 （民生児童委員）
9月2日（水）	松尾 一 （行政相談委員）		井上満喜恵 （民生児童委員）

◇第4回社協まつり開催



今年は、「みんなで集い、楽しむ場」に加えて、熊本地震時に力を貸してくださった皆さんへの「感謝祭」として開催します。お気軽にお立ち寄りください。

【日時】10月24日（土）10時～15時30分

【会場】YP みらいえ及び

益城町保健福祉センターはびねす

【ステージ】

- ・ワークキャンプ体験発表
- ・地域活動団体発表
- ・ステージショー

「グランパワーヒノクニ」



- ・震災10年シンポジウム

（シンポジウムはオンライン参加も可能です）

- ・お楽しみ抽選会 など

【展示・販売】

- ・地域団体の活動展示、シルバー人材センター、災害ボランティア写真展、日本赤十字社

【屋外】

- ・食いしん坊ブース

- ・（飲食物販売キッチンカー）



日赤マスコット「ハートラちゃん」も来ます！

◇益城町オレنجifesta 映画上映会参加者募集のお知らせ

認知症の本人やその家族、地域の皆さまと一緒に、認知症の正しい知識と理解を学び、認知症になっても安心して過ごせる地域づくりを目指して今年も開催します。その中のメイン企画として、映画上映会を開催します。

【開催日】9月12日（土）

【映画】ドキュメンタリー映画

「認知症と生きる希望の処方箋」

（約110分）

【会場】益城町地域共生センター

カタル「研修室1・2」

「益城町オレنجifesta」

は（11時～15時）

【上映時間】13時～（受付12時30分）

【定員】70名※事前予約

【条件】町内在住の方が優先です

【参加費】無料



お申し込みは
こちらから



【問合せ】地域福祉課

☎096-214-5566

映画紹介リンク <https://www.ninchishoutokikuru.com/>

◇親子で学ぶ！熱中症対策と水分補給講座

暑い夏を元気に！熱中症対策を学び、子育て仲間と楽しくつながりましょう！

【開催日】8月22日（土）10時～11時30分

【対象】町内在住1～3歳未就学児と保護者

【主催】

住永貴美子氏（管理栄養士）

【会場】YP みらいえ

惣領1467-11番地

【参加費】無料（先着7組）

【問合せ】地域福祉課

☎096-214-5566



◇移動図書館「トコトコバン」

絵本の読み聞かせや親子の交流を通して、子どもの感性を育み、地域のつながりを広げましょう！お待ちしております！

【開催日】8月29日（土）10時～12時

【対象】町内在住の方（年齢問わず）

【主催】益城町図書館

【会場】YP みらいえ

惣領1467-11番地

【参加費】無料

【問合せ】地域福祉課

☎096-214-5566



◇社協まつり運営ボランティア募集

10月24日（土）開催の第4回社協まつりを一緒に盛り上げてくださる運営ボランティアを、町民の皆さまから募集します。

お申し込みはお電話か、左記の2次元コードから受け付けます。当日の役割や集合時間など詳しいご案内は、後日改めてお知らせします。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

【申し込み対象】

町内在住の小学3年生以上の方（保護者同伴可）
年齢の上限はありません。

【問合せ】地域福祉課

☎096-214-5566

◇CSW

（「コミュニティソーシャルワーカー」）

「コミュニティソーシャルワーカー」とは、どこに相談して良いかわからない困りごとや、制度の狭間にある悩みごとの解決を目指す、地域の身近な相談員です。

電話や来所での相談のほか、左記の2次元コードをスマートフォンで読み取っての相談も可能です。

ご相談は
こちらから



【問合せ】在宅福祉課

☎096-214-5566

お申し込みは
こちらから



～つながる地域・住みよいまち～ **地域サロン**

町内の地域サロンでは、高齢者をはじめ、地域の人々が楽しく集える場づくりが盛んに行われています。

また、介護予防や閉じこもり防止、見守り、仲間づくり、社会参加を目的とした活動に取り組んでいます。

広島4・5サロンが新しい形で活動をスタート

これまで合同で活動してきた広島4・5サロンですが、参加者の増加や活動内容の多様化に合わせ、より参加しやすい環境づくりのために、2つのサロンとして活動することになりました。どちらのサロンも、これまでと変わらず地域の皆さんが気軽に集える場です。ぜひ、お近くのサロンにご参加ください。

広島4町内よつ葉会

開催日：毎月第4火曜日
時 間：10時00分から
場 所：広島4町内公民館



広島5町内いつ和会

開催日：毎月第4火曜日
時 間：10時00分から
場 所：広島5町内公民館



2026
8
NO.341

発行 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会
会長 西村 博則

〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領1476-1

学びと支え合いの複合施設「YPみらいえ」内

TEL 096-214-5566 FAX 096-214-5567

ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

相談窓口



インスタ



MASHIKISHAKYO